

科学技術政策研究レビューセミナー2010 (第1回) の開催

科学技術政策研究所では、行政部局のニーズに迅速に対応する観点から、個別のテーマ毎に成果を取りまとめているのですが、その結果として、科学技術政策に関する大きなテーマに対して、当研究所の調査研究活動が見えにくいという問題意識がありました。

このことから、ある程度大きなテーマについて、当研究所の研究成果を中心とする俯瞰的レビューを行うこととし、2010年度より「科学技術政策研究レビューセミナー」を開催することとしました。

第1回の同セミナーは、2010年12月10日(金)午後2時から旧文部省庁舎6階の第2講堂において開催され、科学技術政策に関する研究のうち、「科学技術システム」、「科学技術予測」、「科学技術人材」、「イノベーション」といった4つのテーマについて研究成果をご紹介することにより、より多くの方に政策研究に関心をもっていただくことを目的としたものです。

今回のテーマとして、発表1「科学技術システムの状況と変化に関する観測手法の開発とその結果～第3期科学技術基本計画についての定点調査～」(発表者：富澤 宏之 科学技術基盤調査研究室長、伊神 正貫 同室主任研究官、コメンテーター：政策研究大学院大学名誉教授 丹羽 富士雄)、発表2「予測活動の世界的な潮流と科学技術政策研究所の取り組み」(発表者：奥和田 久美 科学技術動向研究センター長、コメンテーター：北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科教授 小坂 満隆)、発表3「我が国の若手研究人材を巡る状況と展望」(発表者：茶山 秀一 第1調査研究グループ総括上席研究官、コメンテーター：筑波大学大学院ビジネス科学研究科教授 小林 信一)、発表4「イノベーション測定の国際的な取り組みと我が国の民間企業におけるイノベーションの現状～第2回全国イノベーション調査から～」(発表者：大橋 弘 第1研究グループ客員総括主任研究官、コメンテーター：成城大学政策イノベーション学科教授 小田切 宏之)を取り上げ、国内外の動向、最近の研究成果、今後の課題・方向性などに関する発表を行いました。

各発表について、発表者とコメンテーターとの意見交換を行い、その後の全体討論では、来場者との活発な議論や質疑応答が行われました。

